

# 論文作成時のチェックポイント

## 英文著者名

肩書きは全著者とも記載（RPT, PhD など）。  
姓は全て大文字、名は2文字目以降小文字で表記。

英文要旨（査読にて要旨の修正があるため、査読終了後の修正稿投稿の際に記載する）

150 words 以内で記載。

We, Authors, Our などの主語は用いない。

p 値 ( $p < 0.05$  など) は記載しない。

男性 male 女性 female を用いる。

## 要旨

字数は 300 字程度。

統計手法は記載しない。

p 値 ( $p < 0.05$  など) は記載しない。

要旨、本文中とも句読点はすべて全角「、」「。」とする（「,」「.」は用いない）。

## I. はじめに

研究の背景と研究目的を書く。

略称を記載する際は、原則、正式名称和訳（英文フルスペル：以下、英文略語）とする。

本文中に一度しか記載のない名称は、略語・略称表記は不要。ただし、略称が一般的である名称（例：ADL）は、正式名称（略称）と記載してもよい。

## II. 対象と方法

1. 対象：年齢（歳）、体重（kg）、身長（cm）などの平均値、SD は小数点 1 位まで記載。

倫理に関する件：倫理委員会の承認を受けている場合は、承認を受けた倫理委員会の名称と番号を記載。

倫理委員会の承認を受けていない場合は、倫理的な配慮を記載。

2. 方法（以下の項目を記載。ただし小見出しはつけない）

課題：実験計画など

測定項目（測定指標）

測定装置（特定の機器の記載をする際は、一般名（商品名、会社名）と表記する。）

測定手順

統計：使用ソフト名と検定名を簡潔に。有意水準に「未満」の記載は不要。

### III. 結 果

数字は正式に記載（.05 ではなく 0.05、2,34 ではなく 2.34）。

有効桁数をチェック（有効桁または実用性がある桁にすること）。

p は小文字立形で記載。

#### 図の注意事項

図は原則掲載しない（棒・円・折れ線図、相関図などは掲載しない）。

人物の写真を掲載する際は、目隠しなどの配慮をすること。許可を取得している場合は、その旨を謝辞に記載すること。

#### 表の注意事項

タイトルは表の上に記載。

単位は、各項目の右隣に（）に入れて記載すること（例：BMI (kg/m<sup>2</sup>)）。

有効桁数をチェック。基本的には小数点 1 桁。

罫線は最小限にすること（上下の罫線が基本、縦の罫線は原則使用しない）。

統計結果：p 値、t 値、F 値、ns などは削除し、有意な場合のみアスタリスクで示す。

ANOVA の結果表などは掲載しない。

### IV. 考 察

最初に結果のまとめを記載（ただし小見出しはつけない）。

その後、解釈・その他の内容（測定値の正しさ、研究の限界、仮説の証明、今後に与える展開、示唆、課題など）を記載（注意：飛躍した解釈は避ける）。

最後に、結論でまとめる（ただし、まとめ、結語などの章にはせず、考察中に含める）

### 引用文献

投稿規定をしっかりと読むこと（投稿規定に記載例を掲載しています）。

参考文献は記載しないこと。

ピリオド、セミコロンなど詳細にチェックすること（頁の後の最後のピリオドなど）。

文献番号 1. → 1)

姓名の書き方 (Wollacott MH, . . . など)

Author が 4 名以上の場合は 3 名記載し、以降は ,et al.: と記載 (コロンなど忘れずに)。

頁を略さない (234-44 ではなく 234-244.)。

雑誌名 英文誌は略を用いる。省略名は原則として Index Medicus に従うこと。

和文誌名は省略しない。

年、巻、頁の順で記載する (例 2015,23: 123-133.)。